

おはようございます！

2024年8月17日(土)
第74次米沢地区
国民教育研究集会

憲法をいかし、平和を守り、真実をつらぬく民主教育の確立を！

今次教研の基調

おはようございます。今年も国民教育研究集会を開催します。

パリオリンピックが終わりましたが、ウクライナ戦争、イスラエルによるガザ虐殺は止むことはありませんでした。オリンピック期間中には、広島・長崎の原爆の日もありました。夏は平和を考える季節であることも、私たちは毎年思い起こしたいものです。

ヒロシマ・ナガサキ原爆の日

8月6日のヒロシマ原爆の日に湯崎広島県知事は、「現在も、世界中で戦争は続いています。強い者が勝つ。弱い者は踏みにじられる。現代では、矢尻や刀ではなく、男も女も子供も老人も銃弾で撃ち抜かれ、あるいはミサイルで粉々にされる。国連が作ってきた世界の秩序の守護者たるべき大国が、公然と国際法違反の侵攻や力による現状変更を試みる。それが弥生の過去から続いている現実です。」と述べ、名指しこそしなかったものの、ウクライナ戦争、ガザ虐殺を非難し、NHK テレビは参列したイスラエル大使の表情をずっと映し続けました。



8月9日のナガサキ原爆の日には、イスラエル大使が招待されなかったとしてG7の諸国はそろって式典を欠席しました。

長年の歴史的経過や宗教的背景は、なかなか私たちには理解できないことかもしれません。しかし、戦争は絶対悪であり、暴力での解決は許さないとの信念は持ち続けたいものです。

教職員不足と「働き方改革」

深刻な教職員不足と、その背景にある際限のない多忙への対応として、様々な勤務管理の徹底や行事の見直しなどが進んでいます。山形県教委は今年度から、定年前退職は勧奨扱いにせず退職金を大幅に減額するという、懲罰的な対応まで打ち出しました。

コロナ禍もあり、学校行事や対外行事が見直されましたが、長年私たちが大切に育ててきた創造的な学校文化や、子どもの自主性を大切にした取り組みまでなくなってきました。授業は進度に追われるあまり自主的な教材開発の余裕もなく、デジタル教材により子どもたちの試行錯誤を許さないような定型化された授業になっています。

教職の生きがいを取り戻そう！



教育は未来をつくる仕事です。教師は、子どもたちの学びと成長を共有できる、生きがいのある素晴らしい仕事です。「教育は希望を育むためにこそある」と常々語っていた元全教委委員長の三上満さんは、学級担任のとき、教室に「一人が百歩進むより、みんなで一歩進もう」と掲げていたそうです。

2学期も、みんなで一歩進むために、共に力をあわせましょう。

(三上満さんは、第50次教研(会場・一中)の記念講演者でした)